

学校名 美里町立松久小学校
所在地 美里町駒衣341-2
電話 0495-76-1355

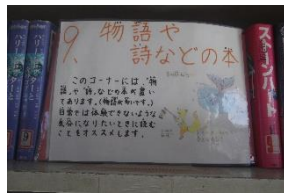
1 本校の概要

本校は自然環境に恵まれ、児童数は179名。児童は明るく純朴である。全学年が単級で小規模のため、互いによく分かり合っており、学年の枠を超えて大変仲がよい。学区内には町立図書館があり、読書環境は比較的整っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書活動の充実
- ・ 読書環境の整備
- ・ 家庭や地域との連携



(2) 実践の概要

ア 年間を通しての取組

○年度初めに1年間の読書目標冊数を提示（低…100冊、中…70冊、高…50冊）し、達成者を表彰、顔写真を掲示している。



○毎月、児童の読書量を担任が集計し、月毎の読書目標冊数（年間の10分の1）達成者に図書委員会が作成した葉を贈る。

○国語学習と連携し「おすすめの本」や自作の物語を掲示している。



○学級文庫に『国語の教科書に出ている本』を置き、国語学習にすぐに役立てたり、気軽に本を読めたりできる教室環境を整えている。

○月2回、地域ボランティアによる『読み語り』

がある。2月には全校児童が感謝の手紙を書き、「ありがとう集会」を実施する。



○町立図書館から、年2回1カ月の団体貸出しがある。

イ 読書チャレンジ月間（10月）の取組

○「本だいす木」の取組

目標（学級・個人）を決めて、本を読み終わる毎に実カードを貼り重ね、学年で一番読書量の多い児童を表彰する。



○親子読書

全家庭で親子読書実施と実践カードの提出をし、廊下に掲示をする。

○図書委員会が児童朝会（リモート）でおすすめの本を紹介する。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 低学年は、平均読書数が100冊を超え、ほとんどの児童が年間読書目標を達成できた。

イ 図書委員会がおすすめした本が多く借りられた。

ウ 保護者から「親子で読書をし、良い時間が過ごせた。」との感想があった。

(2) 課題

ア 個々の読書量に差がある。特に高学年は差が激しい。

イ 学年が進むとともに読書時間の確保が難しい。

(3) 終わりに

高学年の児童が読書により親しめるよう、今後はさらに読書環境の工夫をしていきたい。